

ダイヤル・サービス Monthly seminar

ダイヤル・サービス株式会社
営業本部 法人営業チーム

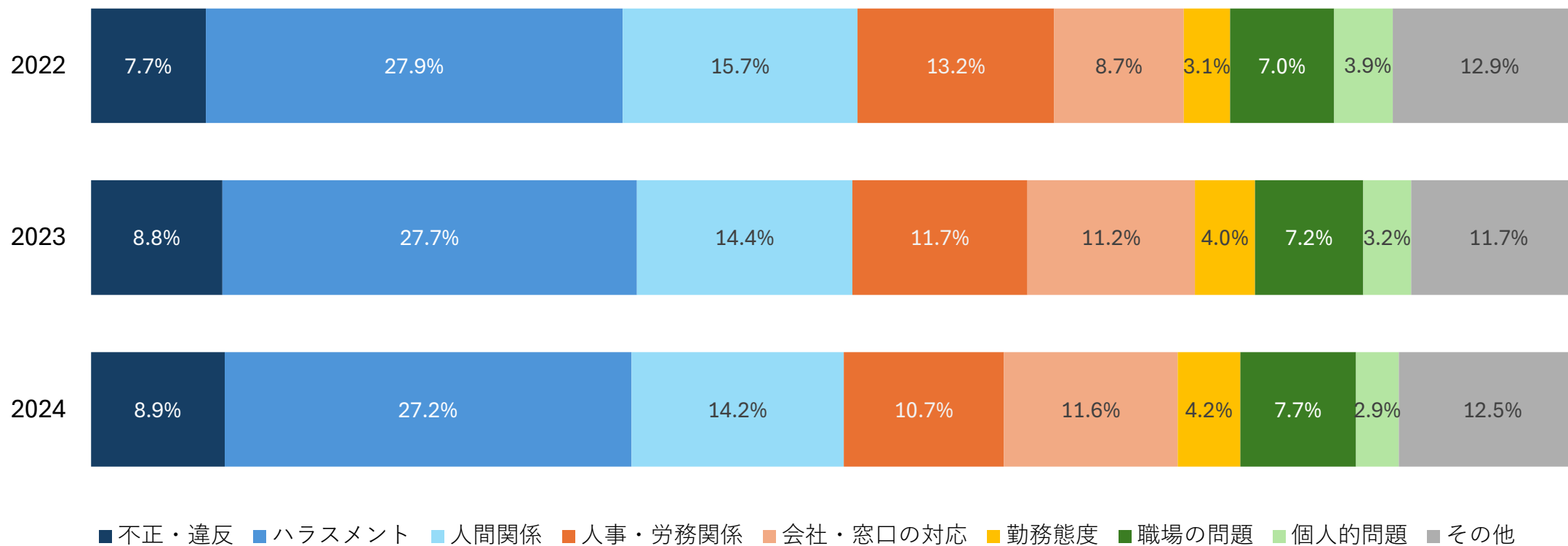
テーマ3

最新のデータを見る

全体の傾向

通報・相談内容

最も多いのは「ハラスメント」に関する通報・相談で、次が「人間関係」に関するもの。次が「会社・窓口の対応」で、年々少しずつ比率が上昇している。



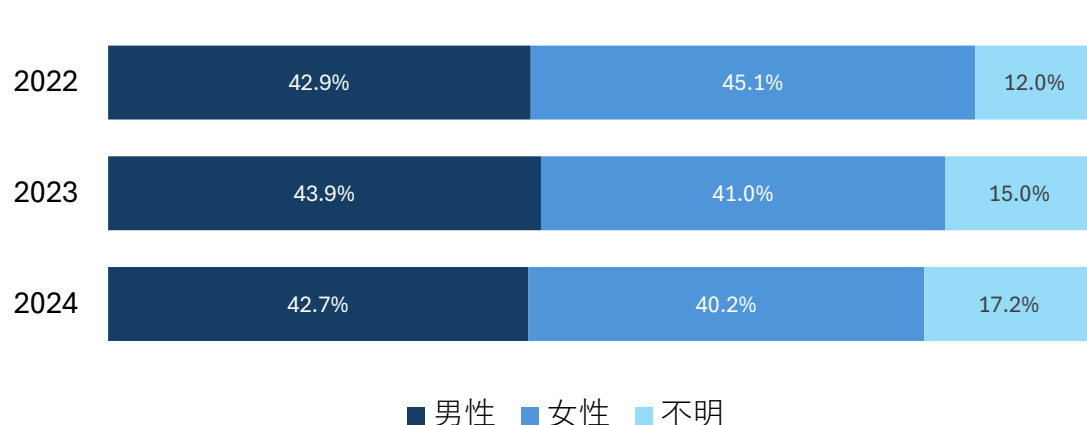
テーマ4

データ・「ハラスメント」

ハラスメント

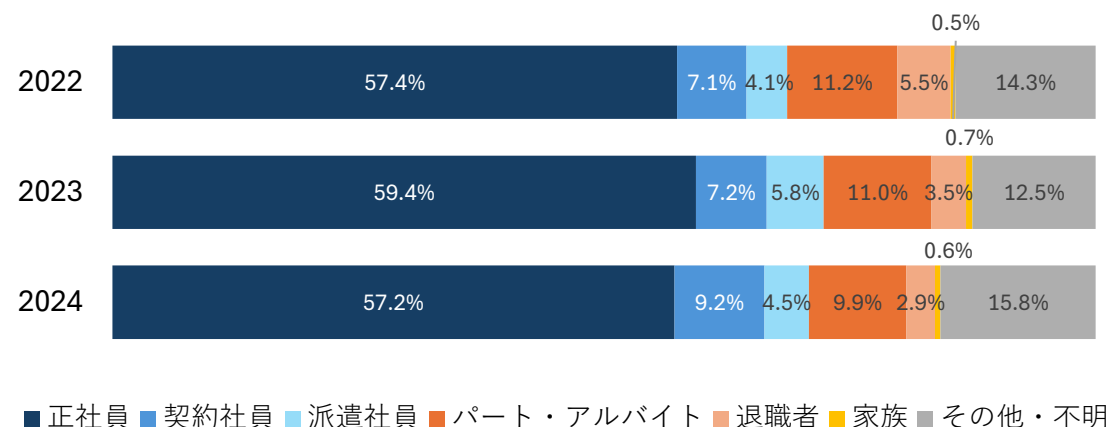
通報・相談者に関する情報

性別



不明（性別を言いたくない、伝えたくない）の比率が上昇傾向。性別が分かる範囲で言うと、男女比は約40%ずつとなった。

雇用形態

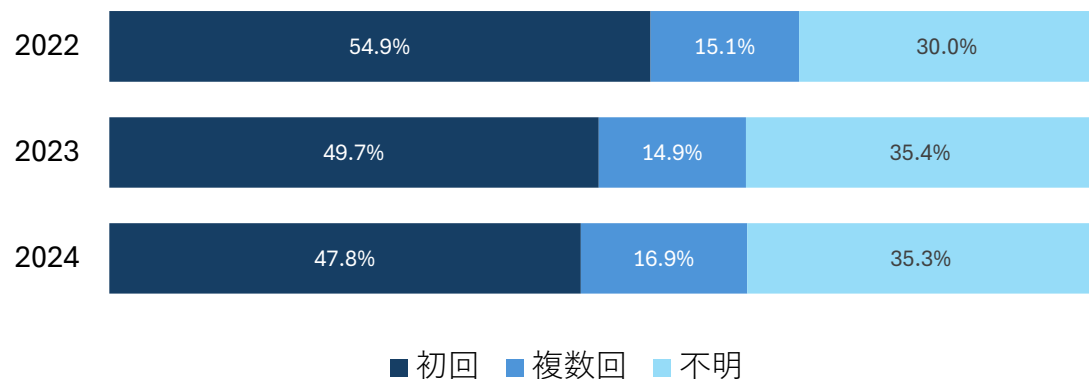


正社員からの相談が約6割を占める。会社を良くしたいという思いの表れか。非正規社員からの相談が少ないのは、窓口の存在自体を知らないか、契約を切られる不安のためか。

ハラスメント

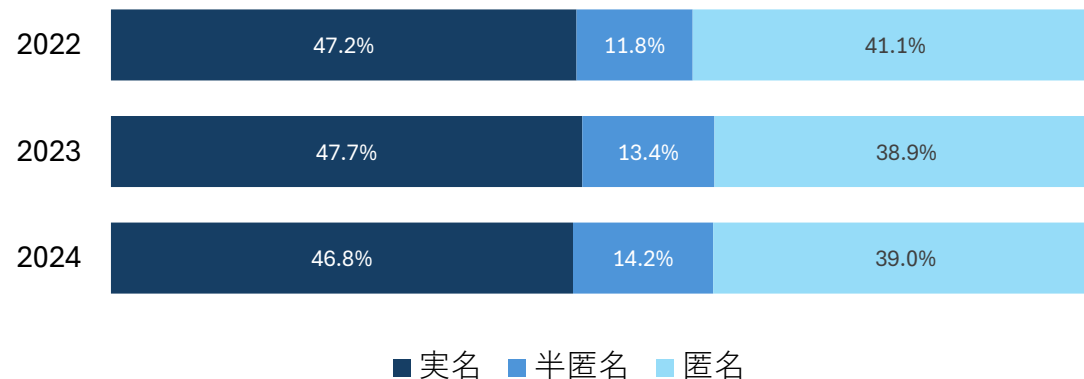
通報・相談者に関する情報

利用頻度



複数回利用者が増加傾向にある。
「不明」の5割は匿名だった。

実名・半匿名・匿名

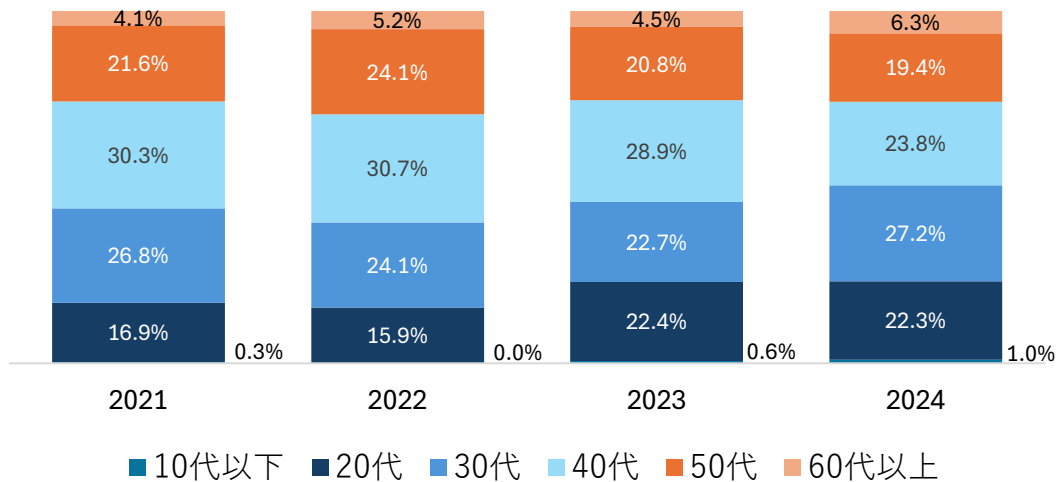


それぞれの比率に大きな変化は出ていない。
実名にせよ半匿名にせよ、何らかの形で会社とやりとりし、解決したいという人が6割を占める。

ハラスメント

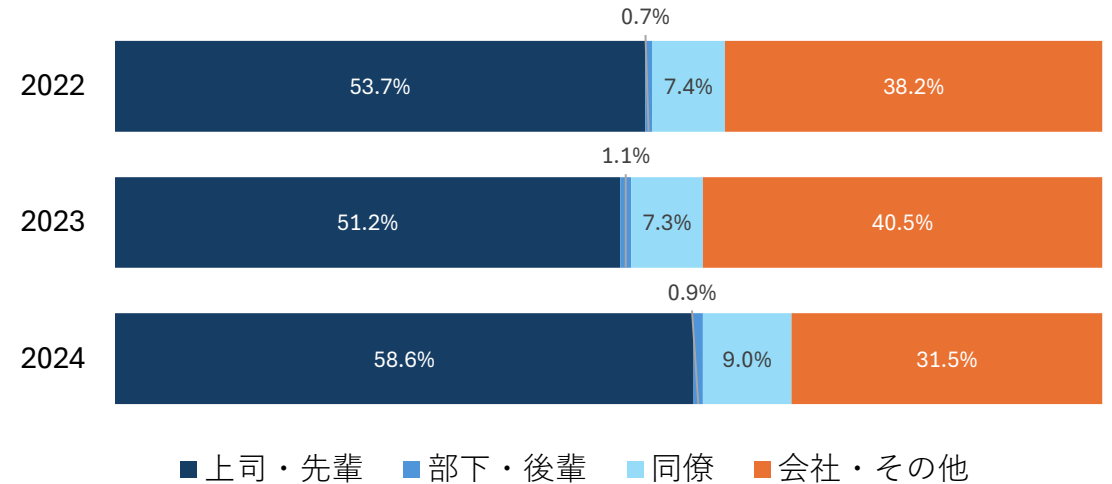
通報・相談者に関する情報

2024年度 世代別



例年は40代からの相談が最も多かったが、
2024年度は30代からの相談が増加。

対象者



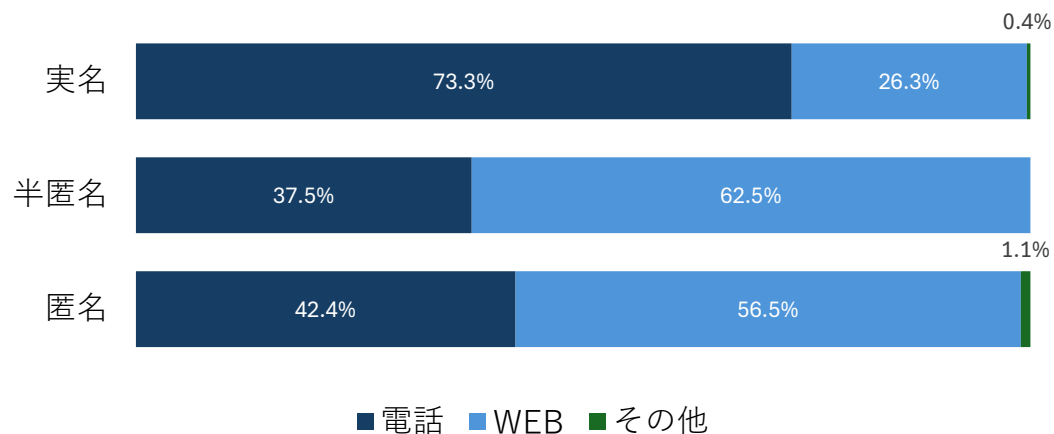
ハラスメントに関する相談は、「上司・先輩」が対象となるケースが5割以上。

「会社・その他」は組織体制を対象としていることが多い。近年はカスハラを訴える声も。

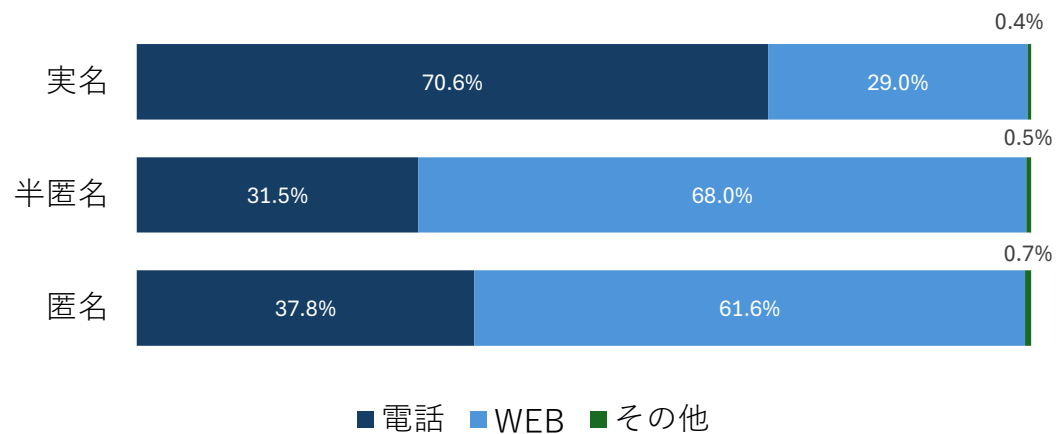
ハラスメント

利用ツール×実名・匿名

2023年度



2024年度



実名の場合、「電話利用者」が7割以上。最初は匿名相談を想定していた相談者が、相談員とのやりとりを経て、実名相談に切り替えるケースも多い。

半匿名・匿名の場合、「WEB利用者」が6割近くを占める。「その他」はチャット等。

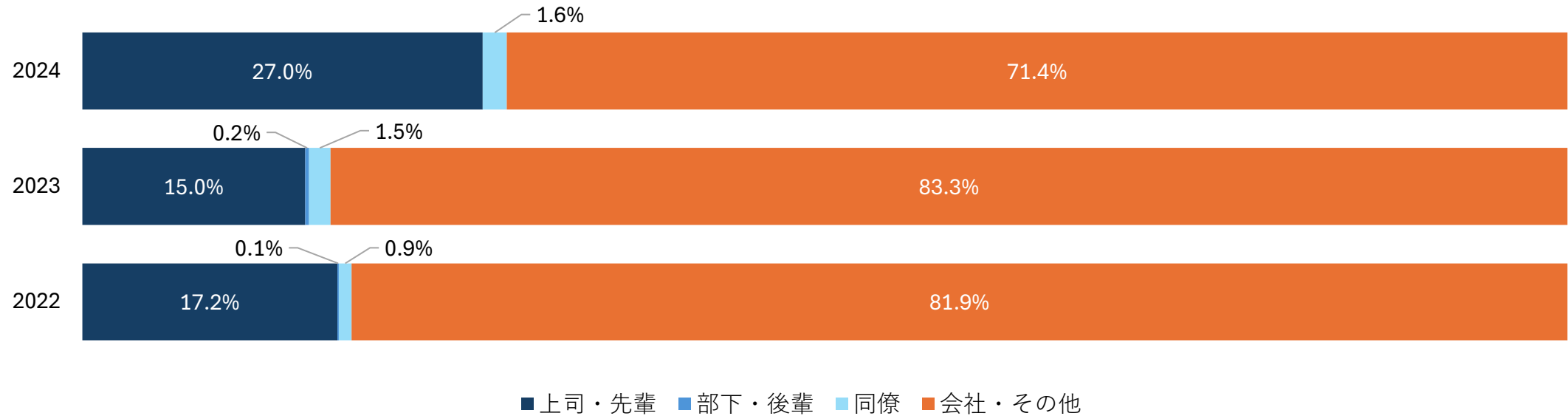
テーマ5

データ・「会社・窓口の対応」

会社・窓口の対応

近年増加傾向にある
「会社・窓口の対応」に関する相談について

対象者



対象者の割合が「上司」＜「会社」となる。この相談の場合、対象者が特定の人物ではなく、「相談に対応してくれない」会社へと移行している。当初は、上司に対するハラスメント相談だったものが、窓口担当者に対する不満となり頻回するケースもある。

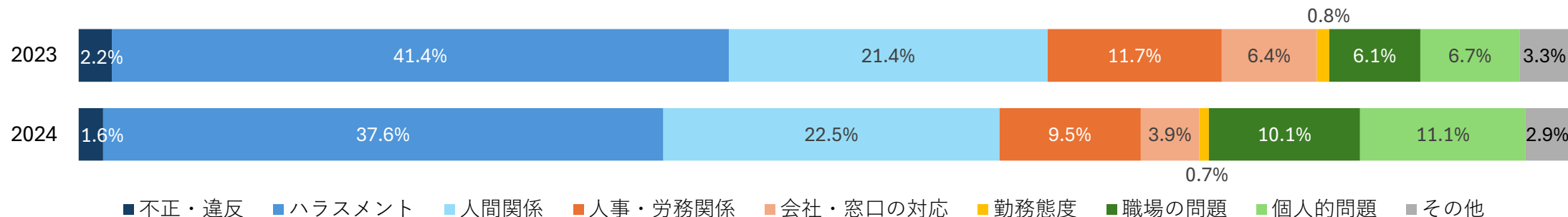
テーマ6

データ・「障がい関連の通報・相談」

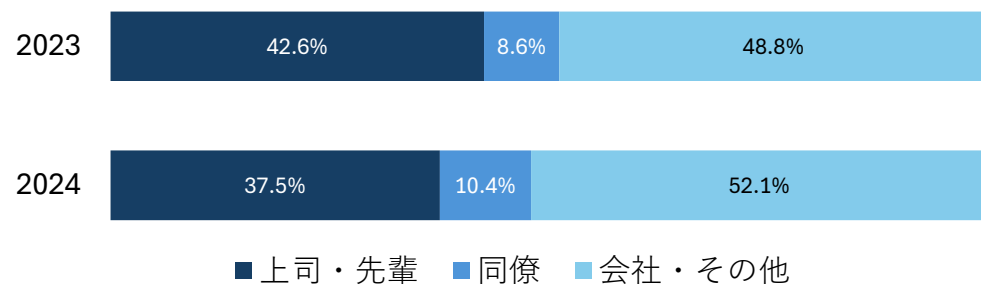
障がい関連の通報・相談

2023年度より集計を実施

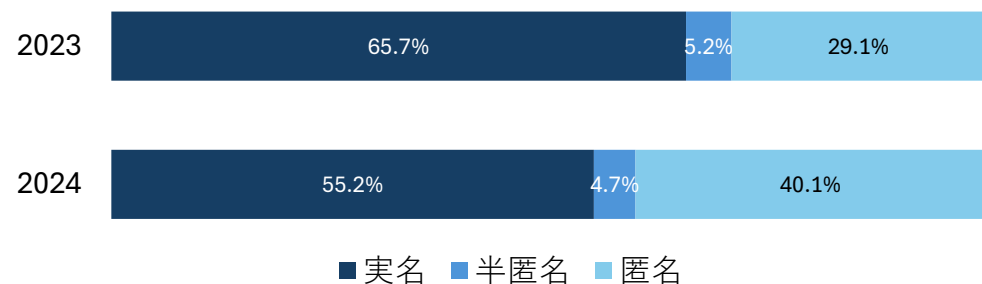
通報・相談内容



対象者



実名・半匿名・匿名



障がい関連の場合、ハラスメントと人間関係に関する相談が6割を占める。職場に合理的配慮がないという相談が目立ってきており、対象者は「上司」よりも「会社・その他」の割合が上回っている。

ご清聴ありがとうございました

ダイヤル・サービス株式会社
営業本部 法人営業チーム

